

テーマは「**優しさ**」住まいの福祉について考えます。 優しさ通信NO. 1
ここでは障害者のことを、「障がい者」と記しています。ご理解ください。

平成27年11月の優しさ通信



模擬カジノ規制 介護施設困惑

神戸市「射幸心あおる恐れ」 福祉と線引き「曖昧」

カジノやマージャンなどを取り入れた介護施設を巡り、神戸市が9月、全国で初めて娯楽サービスの提供を規制する条例を制定しました。10月には兵庫県も追随。

認知症の予防効果などへの期待から、同様のサービスを提供する施設は多くあります。

神戸市は条例で「射幸心をそそる恐れのある遊戯」を「常時または主として」行わせている介護事業所について、事業の不認可や取り消しを可能にしました。施設内で利用できる疑似通貨のほか、賭博を連想させる施設名も規制対象としています。

(2015年10月16日 日本経済新聞記事から抜粋)



認知症 マシンで予防 ツクイ、介護施設100カ所に

デイサービス最大手のツクイは、約100施設に自転車型のトレーニングマシンを導入します。在宅の要介護者が通ってきた際に、体を動かしながらゲームなどをしてもらい、認知症の早期発見や予防に役立てます。

頭を使いながら有酸素運動をすることで、認知症を予防する効果があるといえます。

デイサービス施設は全国で約43000か所。厚生労働省は、今春に事業者が受け取るサービス基本料を減額し、小規模施設の淘汰が始まっています。

(2015年10月28日 日本経済新聞記事から抜粋)



テーマは「**優しさ**」住まいの福祉について考えます。 優しさ通信NO. 2
ここでは障害者のことを、「障がい者」と記しています。ご理解ください。



電動車いす 死傷51件 — 過去7年

ハンドル型 高齢者ら転落・衝突 メーカー、各地で講習会

高齢者らがハンドルで操作する電動車いすの死亡・重傷事故が、昨年までの7年間で51件あったことが、消費者安全調査委員会のまとめでわかりました。

ハンドル型電動車いすは歩行者扱いで、運転免許を取得する必要はありません。最高速度は時速6キロ、1回の充電で約30km走行できます。

51件のうち死亡事故は35件、重傷事故は16件。60～80代の高齢者がほとんど。

車いすからの「転落」が25件と最も多く、列車や壁への「衝突」14件、「転倒」5件。

(2015年10月28日 日本経済新聞記事から抜粋)



今月の福祉用具 — 入浴関連用具 その2

入浴行為と評価

入浴行為を計画するための留意点

- ①本人または介助者の動作能力で、在宅入浴は可能か（症状の進行にも留意）
- ②シャワー浴や訪問入浴、施設入浴等のサービスの選択肢はないか
- ③更衣はどこで行うか
- ④浴室への移動距離は妥当か（特に冬季）
- ⑤浴槽への移動はどのように行うのか
- ⑥浴槽内で安定した座位姿勢を保てるのか
- ⑦洗体姿勢を保てるか、洗体はどのように行うのか
- ⑧水栓具の操作はできるか

(参考：福祉住環境コーディネーターテキスト&福祉用具専門相談員研修用テキストより)

